

社会福祉施設 BCP

(業務継続計画)運用研修 開催要綱

趣旨 介護・障害福祉サービス事業者等においては、業務継続に向けた計画等の策定が令和6年4月より義務化されています。また、児童福祉施設等では、令和5年より策定が努力義務化されています。しかし、BCP（業務継続計画）は、社会環境や経営体制の変化等の多様な要因を考慮して、いつでも運用可能なように見直していることが、策定と同様に重要です。

本研修は、各法人等が、必要時にBCPを運用できるように、策定したBCPを見直すための考え方やその手法等を学ぶ目的で開催します。

研修のポイント！

自施設・自法人のBCPを点検できます

自施設・自法人が策定したBCPを持参し演習で使用します。災害や感染症発生時の想定や実用性を点検する機会になります。

BCP「見直しのポイント」が学べます

BCPは、「いつでも運用可能な計画」を「維持」していることが大切です。維持するために必要な見直しのポイントを確認できます。

BCPの運用に向けた訓練、準備について学べます

様々な災害や感染症の被害を想定した机上訓練の実践から、訓練の企画や手法、必要な準備について学べます。

開催形式

集合

定員

50名

対象

福祉施設等の施設長、防火管理者、防災責任者等

日程・会場

令和7年9月11日（木）

札幌市／損保ジャパン札幌ビル11階（札幌市中央区北1条西6丁目2）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

申込期間

令和7年7月10日（木）～8月8日（金）

受講可否

令和7年8月14日（木）までにご連絡します。

後援

損害保険ジャパン株式会社

プログラム

時間	研修科目	研修内容
9 : 15 ~ 9 : 45	受付	研修費用の受領
9 : 45 ~ 10 : 00	オリエンテーション	
10 : 00 ~ 15 : 00	講義・演習 「平常時のBCP推進体制づくりについて」 「訓練の企画と実施手法について」	BCP（業務継続計画）の実効性を高めるためには、平常時から組織全体で取り組むことが大切です。どの部門が何をするのか、また、事務局は何をするのか等、PDCAサイクルをふまえた組織的な活動（仕組みづくり）の理解を深めます。 また、BCPの見直しの要は、訓練にあります。多様な訓練がありますが、特に机上訓練の体験を通じて、訓練の企画・実施手法と、訓練結果の活かし方について学びます。
15:00~16 : 00	講演 「災害時における自動車の活用方法について」	地震や台風などの災害時には、停電が発生する恐れがあり、電動車（電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）を移動式電源として活用することにより、給電が可能になります。 災害時における電動車の活用方法について学びます。

講師

宮本 薫 氏

SOMPOリスクマネジメント株式会社

医療・介護コンサルティング部（兼） コーポレート・リスクコンサルティング部
上席コンサルタント／米国公認会計士